

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月2日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 7446 URL http://www.t-kagaku.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理グループ長 (氏名) 築館 宏治 (TEL) 0172-33-8131  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	13,938	38.8	124	△3.4	130	△29.6	99	14.9
24年9月期第2四半期	10,038	7.1	128	30.5	185	72.0	86	127.0

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 220百万円(68.7%) 24年9月期第2四半期 130百万円(145.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	21.05	—
24年9月期第2四半期	18.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第2四半期	13,669	4,353	31.8	926.31
24年9月期	10,083	4,218	41.8	881.37

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 4,353百万円 24年9月期 4,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,400	44.8	310	64.5	320	33.9	140	43.0	29.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) 株式会社日栄東海、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	4,800,000株	24年9月期	4,800,000株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	100,677株	24年9月期	13,677株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	4,744,323株	24年9月期2Q	4,786,519株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	5
4. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などにより、企業を取り巻く環境は緩やかに持ち直しの動きを見せました。また、昨年末の政権交代による経済・金融政策への期待感から円安・株高基調に転じるとともに、企業収益や消費動向にも改善が見られました。しかしながら、海外景気の下振れ等のリスクがあり先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境変化に対するスピーディーな体質改革を図り、積極的な営業活動をしてまいりました。

また、平成24年10月1日付で当社の持分法適用の関連会社である株式会社日栄東海の株式を追加取得し、連結子会社といたしました。

この結果、連結子会社となった株式会社日栄東海の業績貢献などにより、前年同四半期と比べ売上高は、139億38百万円と38億99百万円(38.8%)の増収、営業利益は、1億24百万円と4百万円(△3.4%)の減益、経常利益は、1億30百万円と54百万円(△29.6%)の減益、四半期純利益は、99百万円と12百万円(14.9%)の増益となりました。

各セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (化学工業薬品)

半導体液晶関連企業の生産調整も落ちつき、増産傾向にあり化学工業薬品は前年同四半期を上回りました。しかし、同関連機器については前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で57億67百万円と1億25百万円(△2.1%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は5億60百万円と44百万円(7.4%)の減益となりました。

## (臨床検査試薬)

医療費抑制や各種医療機関での共同入札などの影響を受け、取り巻く環境は非常に厳しい状況で推移しました。連結子会社となりました株式会社日栄東海の業績貢献もあり、臨床検査試薬は前年同四半期を大きく上回りました。また、同関連機器も前年同四半期を上回ることができました。この結果、売上高は、全体で65億4百万円と33億14百万円(103.9%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は6億35百万円と2億86百万円(82.0%)の増益となりました。

## (食品)

原料不足による生産調整やデフレによる消費低迷など厳しい環境でありましたが、連結子会社となりました株式会社日栄東海の業績貢献もあり、食品添加物は前年同四半期を大きく上回りました。この結果、売上高は、14億38百万円と5億92百万円(70.0%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は1億18百万円と14百万円(14.3%)の増益となりました。

## (その他)

価格競争の激化や過剰在庫等により厳しい環境でありましたが、その他は農業施設の販売などで前年同四半期を大きく上回りました。この結果、売上高は2億28百万円と1億18百万円(106.9%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は44百万円と19百万円(80.8%)の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、平成24年10月1日に株式会社日栄東海を子会社化したことに伴い、前連結会計年度末に比べ、35億86百万円増加し、136億69百万円となりました。また、負債につきましては、株式会社日栄東海を子会社化したことにより、前連結会計年度末に比べ、34億51百万円増加し、93億16百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億34百万円増加し、43億53百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

## (資産)

資産の増加の主な原因は、株式会社日栄東海を子会社化したこと及び四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品、土地、差入保証金等が増加したことによるものであります。

## (負債)

負債の増加の主な原因は、株式会社日栄東海を子会社化したこと及び四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により支払手形及び買掛金、短期借入金、長期借入金等が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な原因は、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、4億68百万円増加し、16億77百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は5億45百万円(前年同四半期は、12億62百万円の取得)となりました。主な要因は、たな卸資産の増加額1億31百万円あったものの、売上債権の減少額3億74百万円、仕入債務の増加額2億6百万円及び税金等調整前四半期純利益1億52百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は86百万円(前年同四半期は、50百万円の使用)となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出12百万円及び有形固定資産の取得による支出12百万円等があったものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入1億5百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1億62百万円(前年同四半期は、51百万円の使用)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出79百万円及び配当金の支払額55百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第2四半期までの業績動向を踏まえ、平成24年11月14日に公表した平成25年9月期の通期予想につきましては、計画とおり推移しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、当社は持分法適用関連会社であった株式会社日栄東海の株式を追加で取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

### (2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、当社は持分法適用関連会社であった株式会社日栄東海の株式を追加で取得したため、同社を連結の範囲に含めたことに伴い、持分法の適用の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要なものはありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,265,239	1,995,624
受取手形及び売掛金	4,608,525	6,003,584
商品	515,882	831,365
繰延税金資産	17,617	16,167
その他	147,101	256,822
貸倒引当金	△4,416	△4,300
流動資産合計	6,549,950	9,099,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	453,620	488,295
土地	1,310,502	1,684,740
リース資産(純額)	111,493	110,009
その他(純額)	253,114	262,030
有形固定資産合計	2,128,730	2,545,076
無形固定資産		
のれん	—	146,016
その他	10,667	16,436
無形固定資産合計	10,667	162,452
投資その他の資産		
投資有価証券	631,407	815,984
リース投資資産	282,853	241,125
その他	500,406	831,372
貸倒引当金	△20,794	△25,821
投資その他の資産合計	1,393,873	1,862,660
固定資産合計	3,533,271	4,570,189
資産合計	10,083,221	13,669,454
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,982,634	7,534,018
短期借入金	—	433,379
リース債務	121,845	124,567
未払法人税等	72,462	66,247
賞与引当金	27,910	57,910
その他	151,585	163,044
流動負債合計	5,356,437	8,379,165
固定負債		
長期借入金	—	382,439
リース債務	363,782	317,379



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
繰延税金負債	32,881	—
退職給付引当金	20,711	74,686
役員退職慰労引当金	63,862	146,988
その他	27,006	15,744
固定負債合計	508,245	937,238
負債合計	5,864,683	9,316,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,476,090	2,529,480
自己株式	△6,637	△45,922
株主資本合計	4,170,953	4,185,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,584	167,992
その他の包括利益累計額合計	47,584	167,992
純資産合計	4,218,538	4,353,049
負債純資産合計	10,083,221	13,669,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	10,038,776	13,938,713
売上原価	8,956,346	12,580,048
売上総利益	1,082,430	1,358,664
販売費及び一般管理費	953,661	1,234,214
営業利益	128,768	124,450
営業外収益		
受取利息	2,229	1,896
受取配当金	3,692	3,863
貸倒引当金戻入額	44,545	—
持分法による投資利益	—	358
その他	7,716	12,608
営業外収益合計	58,184	18,726
営業外費用		
支払利息	71	12,116
持分法による投資損失	1,656	—
その他	180	714
営業外費用合計	1,908	12,830
経常利益	185,044	130,345
特別利益		
段階取得に係る差益	—	22,500
投資事業組合運用益	—	1,669
特別利益合計	—	24,169
特別損失		
固定資産除却損	—	250
投資事業組合運用損	4,274	—
役員退職慰労金	—	1,983
特別損失合計	4,274	2,233
税金等調整前四半期純利益	180,770	152,282
法人税、住民税及び事業税	100,049	62,841
法人税等調整額	△6,154	△10,415
法人税等合計	93,895	52,425
少数株主損益調整前四半期純利益	86,875	99,856
四半期純利益	86,875	99,856

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	86,875	99,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,700	120,407
その他の包括利益合計	43,700	120,407
四半期包括利益	130,575	220,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,575	220,264
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	180,770	152,282
減価償却費	37,218	41,866
投資事業組合運用損益(△は益)	4,274	△1,669
引当金の増減額(△は減少)	△41,201	17,800
受取利息及び受取配当金	△5,922	△5,759
支払利息	71	12,116
持分法による投資損益(△は益)	1,656	△358
固定資産除売却損益(△は益)	—	250
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△22,500
のれん償却額	653	16,224
売上債権の増減額(△は増加)	△24,435	374,740
たな卸資産の増減額(△は増加)	△123,417	△131,889
仕入債務の増減額(△は減少)	1,292,165	206,323
その他	△20,321	△39,098
小計	1,301,511	620,328
利息及び配当金の受取額	5,355	6,225
利息の支払額	△71	△12,086
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△44,330	△69,419
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,262,465	545,048
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△35,782	△12,535
無形固定資産の取得による支出	△4,848	△1,450
投資有価証券の取得による支出	△8,078	△12,889
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	105,138
その他	△2,264	8,042
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,973	86,306
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	76,000	76,072
短期借入金の返済による支出	△76,000	△50,072
長期借入金の返済による支出	—	△79,014
配当金の支払額	△38,214	△55,926
その他	△13,719	△53,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,933	△162,668
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,159,558	468,686
現金及び現金同等物の期首残高	761,786	1,209,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,921,345	1,677,924

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,892,601	3,189,658	845,987	110,528	10,038,776	—	10,038,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,892,601	3,189,658	845,987	110,528	10,038,776	—	10,038,776
セグメント利益	605,028	349,359	103,490	24,551	1,082,430	—	1,082,430

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、前連結会計年度において「その他(食品・農薬資材)」に含まれていた「食品」について量的な重要性が増したため、「食品」及び「その他」をそれぞれ区分掲記しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

平成24年10月1日付で株式会社日栄東海が連結子会社となりました。

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,767,057	6,504,468	1,438,490	228,697	13,938,713	—	13,938,713
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,767,057	6,504,468	1,438,490	228,697	13,938,713	—	13,938,713
セグメント利益	560,074	635,945	118,265	44,378	1,358,664	—	1,358,664

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結会計期間で株式会社日栄東海の株式を追加取得したため、のれんが1億62百万円発生しておりますが、特定の報告セグメントには関連づけてはおりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

該当事項はありません。